

2024 年度:こども園自己評価の報告書

庄内西こども園

評価項目	取り組み状況
教育・保育方針と内容	・今年の研究テーマを「子どもが自己肯定感を高め、人と豊かに関わる力を育むための、支援や環境づくり～自分らしさを表現できる安心感の中で～」とした。人権の視点に立った子ども理解や、多文化共生の視点を取り入れた子どもが主体的に遊びたいと思える環境について考える機会を持ち、実践につなげることができた。 ・公立こども園の理念に基づき、子どもの実態に即した園生活が送れるような教育・保育の進め方について、職員間での学び合いを大切にしながらできることから実践していった。
健康支援	・胃腸炎症状、インフルエンザなどの感染症に対して、園内の換気や消毒、手洗いをより意識し、継続して行った。保護者へも配信アプリ等を利用し啓発していくことで、感染拡大予防の協力を得ることができ、園内全体への大きな流行は防ぐことができた。 ・園児を対象にした保健指導や健康安全指導を行い、生活習慣等に関する保育内容の充実を図ることにより、それが日々の生活の中に活かされるようになってきている。
安全指導・危機管理	・総合避難訓練では、南消防車の職員が来園し安全に避難するための助言を受け、子ども達の防災への意識につながった。 ・自園は水害想定区域にあたり、全園児と職員で庄内西小学校への避難の仕方を体験し、いざという時のシミュレーションができた。また水害の規模により近隣の会社への避難について、話すことができた。
食育の推進	・菜園活動、クッキング活動、給食の食材に触れるなど、各年齢に応じた経験をすることで種類・量ともによく食べるようになった。 ・子ども達が友達や担任とのかかわりの中で、食事の時間が楽しいと思えることを大切にしてきたことが、食べる意欲につながった。
子育て支援（在園児および地域）	・保護者参加の行事において、人数制限をしないことで多くの保護者に日頃の取り組みの様子や子どもの育ちを見てもらうことができた。子ども同士のやり取りがうまくいかないことを心配する保護者の声もあったが、保護者の思いを受け止めながら、子ども同士の関わり合いの姿などを日々伝えていくことで、子ども達の成長を感じてもらい、信頼関係の構築につながった。 ・地域の方とは園児との交流を持ち、1歳の育ちで園の子どもの姿を写真や映像を見ながら話すことで、子どもの育ちを感じてもらった。、保護者同士も不安に思うことなどやり取りができてよかった。
インクルーシブ教育保育	・保護者の悩みやいろいろな思いを受け止め、園生活において互いに育ちあっているところを伝えていった。 ・外国籍の新入児が増え、他国の言葉や文化を取り入れた教育・保育の実践や、友達同士のつながりが深まる活動を考えていった。

職員の資質の向上	・アドバイザー研修より学んだことを実践に取り入れることで、子ども達の姿に変化や成長が見られ、教育・保育に少しずつ見通しが持てるようになり職員自身の資質向上に繋がったと思われる。 ・ガイドラインの研修を受け、ガイドラインをどのように活用したらいいかということがわかった。クラスでどのように実践し成果や課題についてガイドラインに沿った話し合いをしていくことが課題になる。
幼保こ小中の連携・接続	・年長児は近隣のこども園と交流を持つことで、新しい友達との出会いがあり、遊びの幅が広がったり名前を覚えて次回の交流を楽しみにしたりする姿が見られた。 ・小学校見学では実際の学校生活の雰囲気に触れ、就学に向けての意欲や期待につながった。 ・就学先の学校との連携を図り、丁寧な引継ぎを行った。
評議員会	・評議員の方に園行事や評議員会に参加していただき、子どもの姿を通して園が大切にしていることや、子ども主体で取り組むことが、一人一人が生き生きと楽しむ姿につながっていることを感じてもらった。 ・年に数回来ていただくことで、最後の評議員会では子ども達の一年の成長を感じてもらった。
その他	・保護者からの声を真摯に受け止め、職員一人一人が自己を振り返りながら子どもや保護者の思いに寄り添った対応ができるためには何をすべきか議論を重ね、実践につながるよう意識して取り組んできた。 ・園での取り組み内容や大切にしていることが、分かりやすく伝わるために保護者目線に立ち掲示方法を工夫したり配信アプリでのアピールを行ったりした。

○今後取り組むべき課題（重点的に取り組むべき課題）

課 題	具体的な取り組み方法
保護者支援と職員の人権意識の向上	・今年度に積み重ねてきた保護者との信頼関係を作りながら、悩みが少しでも解決に向かうよう、その方法を保護者の思いに寄り添いつつ共に考えていく。 ・全ての子どもや保護者からの、様々な方法での気持ちの表出を感じ取り、答えていけるような人権感覚と意識を向上させるための研修を行い、職員間での議論を重ねながら実践に繋げていく。
保育の質の向上	・全クラスの公開保育で活用している環境ガイドラインを、公開保育後の教育・保育をすすめていく中でどのように活用していけば、園がめざす環境に、より近づくのか全職員で見直す機会を持ち実践に繋げていく。

令和 7 年（2025 年）3 月 31 日

豊中市立 庄内西こども園

園長名 仮屋 道子